

# 平成 27 年度 公益財団法人わかやま産業振興財団事業計画

平成 27 年度公益財団法人わかやま産業振興財団事業計画を次のとおり定める。

## 1 わかやま企業成長戦略事業(経営・販路)

### (1) 中小企業支援センター事業

#### ア 窓口相談事業

##### ① 総合相談窓口事業(相談想定件数 360 件)

中小企業者等が抱えるマーケティング、資金等の問題について、プロジェクトマネージャーが相談に応じる。

##### ② 下請かけこみ寺相談事業(15 件 うち弁護士相談 7 件)

中小企業者等が抱える取引適正化・苦情紛争処理等の問題について、弁護士等が相談に応じる。

#### イ 情報機器整備事業

財団ネットワークシステムの管理、運営を行うとともに、県内中小企業に対して、ホームページや財団サポートメールによる情報提供を行う。

- ・サポートメール件数(毎週配信) 約 2,700 件
- ・ホームページアクセス件数(年度計) 約 750,000 件

#### ウ 地域プラットフォーム事業

県下中小企業、起業家への支援機関として関係行政機関、金融機関を含めた経済団体及び県下大学との連携をより強固に押し進めるべく枠組み作りとタイムリーな運営で中小企業、起業家への手厚い支援を実施できる体制作りを行う。

#### エ 委員会運営事業

事業可能性評価委員会及び企業カルテ評価委員会の 2 委員会を開催し、「連携体共同研究計画」及び「企業カルテ」を評価し支援先を決定する。

委員会名	開催回数	選定数
事業可能性評価委員会	1	6
企業カルテ評価委員会	3	35

### (2) 専門家設置事業・(3) 専門家派遣事業

プロジェクトマネージャー 1 名及びインキュベーションマネージャー 1 名を配置し、中小企業者等が抱える課題の解決に向けて下記の事業を実施する。

#### ア 企業プロデュース事業

県内のやる気ある企業に対して、新たなビジネスモデルや「儲かる仕組み」をプロデュースする専門家 11 名からなるチームを組織し、企業の経営革新、第 2 創業、新製品開発及び販路開拓等企業のビジネスプラン実現への取り組みを支援する。

また、専門家プロデュースチームによる会議を 3 回開催し、専門家の選定や支援の方向付け等の検討を行う。

- ・選定企業予定数 35 社
- ・延派遣予定回数 105 回

イ 専門家派遣事業

創業や企業経営の向上を目指す中小企業者等に対し、経営・技術・情報化等に関する中小企業診断士や技術士等の専門家を派遣し、助言・指導を行う。

- ・派遣予定企業数 26社
- ・延派遣予定回数 260回

ウ ものづくり支援アドバイザー事業

先進企業のノウハウを中小企業に蓄積するため、ものづくりに関する技術改善、生産管理等総合的なアドバイスを行うことができる先進企業OBチームを県内企業に派遣する。

- ・派遣予定企業数 3社
- ・延派遣予定回数 30回

(4) 経営支援事業

ア 経営革新事業

経営革新計画認定事業者が取り組む新商品等の開発、販路開拓のための展示会出展等に要する経費の一部を助成する。

- ・補助企業数 2件 補助額 6,000千円

イ 販路開拓事業

自社開発した新商品等の販路開拓のため、国内展示会への出展に要する経費の一部を助成する。

- ・補助企業数 12件 補助額 6,000千円

(5) 受発注情報収集・提供事業

ア 企業登録の推進事業

企業訪問等により下請取引情報提供の基礎となる受・発注企業の登録を推進する。

イ 受発注情報収集提供等の促進事業

県外大手企業の発注計画や発注ニーズについて、財団独自の発注アンケート調査や専門調査員による発注企業開拓訪問などにより情報を収集するとともに、当該情報を県内登録企業に提供することにより、取引あっせんに努める。

ウ 企業情報収集提供等の促進事業

受発注案件、取引改善関係法令及び財団事業等を掲載した情報誌「財団だより」を毎月発行し、情報提供を行う。また、登録企業の自社製品、加工技術を掲載した「中小企業ガイドブック」を作成し、県外発注企業約800社に配布するとともに、新規取引先の拡大と取引あっせんに努める。

エ 商談会等開催事業

県外の手前メーカー等を招へいし、受注企業とのマッチングの場を提供する取引商談会を和歌山市、大阪市、京都市においてそれぞれ1回開催し、取引先の開拓、取引あっせんの円滑化に努める。

- ・取引商談会（予定）  
参加企業 発注企業 300社 受注企業（県内） 80社

オ 新価値創造展事業

中小企業者等の優秀な技術、製品等を一堂に展示し、中小企業者等の製品開発力、加工技術等を紹介するとともに、新規取引先の開拓及び広域的な受注機会の増加に努める。

## (6) 成長企業支援事業

地域におけるリーディングカンパニーの育成・支援を目的とし、人的資源の充実により成長が期待できる中小企業者に対し、各部門の中核をなす人材を導入する経費の一部について支援を行う。

・補助企業数 10件 補助額 10,000千円

## (7) ものづくりカイゼン支援事業

ものづくりカイゼン支援アドバイザー養成スクールを設置し、ものづくり現場の中核となる人材及びアドバイザーを養成する。この中核人材が自社のカイゼンに取り組むことやアドバイザーの派遣を受けた企業がカイゼンに取り組むことにより、既存事業におけるムダの軽減や経営の改善をおし進め、生産性の向上を目指す。

## (8) 和歌山県よろず支援拠点事業

中小企業庁の事業として、中小企業・小規模事業者のための経営相談所「よろず支援拠点」を全国各都道府県に1箇所設置し、売上拡大、経営改善、経営上の相談等に対応する。

独立行政法人中小企業基盤整備機構が本部となり、当財団に「和歌山県よろず支援拠点」を設置し、コーディネーター、サブコーディネーターが中小企業・小規模事業者の支援を行う。

・業務全般相談対応件数目標 2,400件

①総合的・先進的 アドバイス	解決が困難な経営相談に応じ、中小企業・小規模事業者の課題をコーディネーター、サブコーディネーターが分析し、解決に向けたアドバイスと実現までのフォローアップを実施する。 ・強みを伸ばす来訪型売上拡大支援 ・他機関が対応しない経営改善支援 ・事業承継支援 ・実施機関（財団）及び財団コーディネーター等が連携し総合的な支援
②支援チーム等 編成支援	よろず支援拠点のコーディネーター等を中心に、中小企業・小規模事業者が取り組む経営改善に対する支援力を強化するため、経営改善等に対応できる金融、経営等の専門家で臨機応変にチームを編成し支援を行う。
③ワンストップ サービス	よろず支援拠点のコーディネーター等を中心に、財団ネットワーク（国、県等自治体、大学、金融機関、認定支援機関（商工団体等））を活用して幅広い相談に対応し適切な支援を行う。
④支援機関等連携 強化業務	県内の各支援機関、自治体、大学、公設試験研究機関等訪問を通じ連携を強化するとともに、地域、支援機関等の協力のもと特徴を活かした相談が行える幅広い出張相談会を開催し、支援機関等の情報交換、支援活動の連携を強化する。 また、和歌山市が実施する創業支援事業に、和歌山商工会議所、日本政策金融公庫と共に協力する他、県内7ブロックの「経営支援センター」との連携を強化する。

## 2 わかやま企業成長戦略事業(技術・研究)

### (1) 研究開発強化事業

ア 未来企業育成事業

県内中小企業の研究開発支援として、産学官の活発な人事交流と情報交換等を通じて事業化への芽を育むとともに、連携体が実施する共同研究を支援することにより、新事業創出を推進する。

委託額 1件当たり、50万円から400万円  
採択件数 6件程度

## (2) 技術・知的財産強化事業

### ア 新事業支援コーディネーター設置事業 (相談想定件数150件)

県内企業が保有する知的財産や技術を活用したビジネスモデルの構築に対するアドバイスや県内企業の技術ニーズと大学や公設試験研究機関が保有する特許・技術シーズのマッチングによる事業化を支援等する新事業支援コーディネーターを設置する。

### イ 技術連携コーディネーター設置事業 (相談想定件数100件)

県内企業訪問によるシーズ・ニーズの発掘を行うとともに、大学や公設試験研究機関等が持つシーズを把握し、それらをマッチングさせることにより産学官の技術連携による研究開発を支援等する技術連携コーディネーターを設置する。

### ウ 科学技術コーディネーター設置事業 (相談想定件数30件)

公設試験研究機関の研究成果の技術移転、公募型研究開発資金獲得のため産学官連携による研究開発プロジェクトの立案等を支援等する科学技術コーディネーターを設置する。

### エ 新技術育成情報活用支援事業 (調査想定件数150件)

先端分野に係る研究開発を目指す県内中小企業の相談に応じ、商用データベースを活用し、研究テーマの立案・ブラッシュアップ、技術の権利化に必要な先行特許情報や学術論文等の基礎的調査を行い、情報提供、相談等に応じる。

## 3 中小企業支援基盤整備促進事業

企業支援データベースの拡充や情報化基盤に関する保守管理等を行う。

## 4 国際経済交流支援事業

県内企業の国際的なビジネス活動を支援するため、相談員2名を設置し、貿易・投資等の相談に応じる。また、貿易実務講座、国際経済セミナー等の各種セミナーを開催し、グローバルな経済、貿易等、最新情報の提供を行う。

加えて、総合商社などのOBをビジネスアシスタントとして県内中小企業に派遣し、海外での商談アレンジや通訳、商品開発へのアドバイスなど、海外ビジネス実現のための総合的なサポートを実施する「海外ビジネス実現事業」を行う。

## 5 わかやま中小企業元気ファンド事業

「活力あふれる元気な和歌山経済」を目標に「地域経済を支える中小企業を育成・振興し、足腰の強い地域産業の創出・育成」の実現を図るため、中小企業者等が取り組む地域資源を活用した新商品・新サービスの開発、中小企業者等と大学、国立工業高等専門学校、公設試験研究機関との共同研究等から生まれた研究成果の事業化に対して支援を行う。さらに、商工会議所等が取り組む新たな事業構想を発掘するためのコーディネート活動に対して支援を行う。

また、優れた自社製品、産品を有する県内企業と県内外の購買企業との商談の場「わかやま産品商談会」を和歌山市において開催し、新規取引先の開拓等販路拡大の支援を行う。

(平成 27 年度採択予定件数・金額)

事業区分		予定件数	助成予定額	備考
地域資源活用事業	新規採択分	17	69,525 千円	
	継続事業分	5	14,383 千円	2 年事業の 2 年目 (H26 年度採択事業)
新産業育成事業	新規採択分	8	52,000 千円	
	継続事業分	3	10,224 千円	2 年事業の 2 年目 (H26 年度採択事業)
産業支援機関事業	新規採択分	3	3,000 千円	
計		36	149,132	

## 6 わかやま農商工連携ファンド事業

「活力あふれる元気な和歌山経済の創造」の実現に向け、県内中小企業者等と農林漁業者とが連携して取り組む新商品の開発等に対し、支援を行う。

(平成 27 年度採択予定件数・金額)

予定件数		助成予定額	備考
新規	5 件	24,000 千円	
継続	6 件	18,591 千円	2 年事業の 2 年目 (H26 年度採択事業)
計		42,591 千円	

## 7 わかやま産品販促支援事業

「わかやま産品販路開拓アクションプログラム」に基づき、県内企業が持つ優れた製品・技術力等を効果的に売り込むため、海外での個別商談会や国内での大手企業との個別面談会を開催するとともに国内外の著名展示会への出展に対して支援を行う。

### (1) 海外

ア 海外展示会への集団出展支援事業 (予定: 5 社)

1 月にニューヨークで開催される展示会「ニューヨーク・ナウ」(主に家庭用品雑貨等の展示会)に、和歌山ブースを設けて支援を行うことにより、県内中小企業の商談の機会を創出していく。

イ 海外展示会への個別出展支援事業 (予定: 6 社)

県内中小企業が持つ優れた製品・技術力を効果的に発信するため、海外の専門的な展示会へ出展し海外市場の開拓に取り組む中小企業者に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

ウ 海外ビジネスミッションの開催 (予定: 3 回)

今後、経済成長が見込める地域を中心に、海外での商談会、プロモーション及び市場調査等の事業を幅広く実施することで、県内企業の海外展開を支援する。

### (2) 国内

ア 大手企業との面談会 2 社を予定

イ 専門展示会への集団出展

展示会名	参加予定数	開催日
第 19 回機械要素技術展	10	平成 27 年 6 月 24 日～26 日

第 80 回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2015	10	平成 27 年 9 月 2 日～ 4 日
I F F T / インテリア ライフスタイルリビング 2015	5	平成 27 年 11 月 25 日～27 日
第 45 回 インターネプコン ジャパン	6	平成 28 年 1 月 13 日～15 日

## 8 販売力強化支援事業（わかやまビジネスサポートセンター）

わかやま産品販路開拓アクションプログラムの国内戦略の強化を行うため、積極的な首都圏展開を目指す県内企業に対して営業拠点を提供するとともに ABIC（特定非営利活動法人国際社会貢献センター）の協力を得ながら専門家の派遣を行う。

## 9 地域需要創造型等起業・創業促進事業

新たに起業・創業や第二創業を行う者に対して事業の実施に要する経費の一部を助成することで、地域需要を起こすビジネス等を支援する。

## 10 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業事業計画確認事業

経営革新等支援機関として、革新的なものづくり・サービスの提供等にチャレンジする中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等の事業計画の策定にあたって助言・支援を行うと共に、策定された事業計画の実効性等について確認する。

### 11 債権管理事業

貸与、貸付金の償還が滞っている債務者に対し、電話・訪問等により債権の回収に努める。

## 12 わかやま産業技術振興事業

### (1) 技術研修事業

県内中小企業の技術人材の育成を図るため、製造現場の管理技術等のテーマを選定し技術研修を開催する。また、小学生、中学生を対象に科学に対する興味を深めてもらい、未来の研究者、科学者育成を目指して科学実験工作教室を開催する。

#### ア 基礎技術講座

・講座回数 6 回

内 容	開催日・場所	日 数	定 員
品質管理 いますぐできる品質管理手法による現場力向上	平成 27 年 5 月 和歌山ビッグ愛	3 日	30 名
コスト管理 製造原価の基礎知識とコストダウン方法	平成 27 年 6 月 和歌山ビッグ愛	3 日	30 名
現場改善 仕事の基本「5S の定着」とグループ活動の進め方	平成 27 年 9 月 和歌山ビッグ愛	3 日	30 名

人材育成 生産管理における人材育成のポイント	平成 27 年 10 月 和歌山ビッグ愛	3 日	30 名
納期生産管理 生産管理の考え方と納期管理の進め方	平成 27 年 11 月 和歌山ビッグ愛	3 日	30 名
食品製造業 食品製造業品質管理	平成 27 年 11 月 和歌山ビッグ愛	1 日	30 名

イ 夏休みのおもしろ科学の実験工作教室

- ・ 8 月 1 日間 田辺市開催 参加者定員 30 名
- ・ 8 月 2 日間 和歌山市開催 参加者定員 30 名

(2) 専門技術研究会事業

県内の様々な産業分野における専門技術や専門知識等の普及と参加企業相互の情報交換を図るため、公設試験研究機関、大学等の研究員が主宰する専門技術研究会の運営を助成する。  
研究会数 9 研究会

(3) 技術情報提供事業

テクノ振興部の活動等を紹介する情報誌「テクノウェーブWAKAYAMA」を作成し、会員や関係機関等に配布する。

(4) 技術交流促進事業

和歌山県内の大学・工業高等専門学校・公設試験研究機関が保有する技術シーズを公開し、産学官の連携促進と人的交流を図るとともに、共同研究や技術移転等を推進するため、「わかやまテクノ・ビジネスフェア」を開催する。

(5) 企業交流促進事業

話題提供者を中心に、自然科学・人文科学を含む広い範囲のテーマについて理解を深めるとともに、各分野の参加者が自由な立場で出会い、産学官のより一層の交流を図るため、テクノサロンを開催する。  
開催数 6 回

(6) 広域的新事業支援連携事業

ア 若手研究者・学生による研究成果発表会

和歌山大学、近畿大学、企業等による産学官連携を推進するため、若手研究者と学生による研究成果発表会等を開催し、最新の技術と知識の普及を図る。

イ ワンディ・WINTEC出張技術相談会

県内企業の技術力の向上と研究開発を支援するため、工業技術センターの利用事例などの業務紹介、情報提供及び当財団業務の紹介、情報の提供及び相談事業を行う。

ウ 林業・水産技術成果発表会

林業・水産技術に係る試験研究機関の成果発表を行うとともに、当財団が行う林業・水産技術を活用した商品開発等の補助金等を紹介する。

### 1 3 中小企業知的財産戦略支援事業

中小企業外国出願支援事業

外国で産業財産権を戦略的に活用し、経営の向上を目指す県内中小企業に対して、外国への特許・実用新案・意匠・商標出願を支援する。

予定件数 8 件

#### 1 4 戦略的基盤技術高度化支援事業

近畿経済産業局の大型研究開発事業で、共同研究に参画する県内企業、大阪大学、和歌山県工業技術センターへの補助により、研究開発事業を実施する。

採択テーマ メタボローム分析の高精度・ハイスループット化に資する試料自動前処理・注入技術及び装置の開発

共同研究体 (株)アイスティサイエンス、国立大学法人大阪大学、和歌山県工業技術センター

事業実施期間 平成 26 年度～平成 28 年度

#### 1 5 地域イノベーション戦略支援プログラム事業

文部科学省補助事業（最長5年間、平成24年度～）

テーマ名：「地域資源を活かした健康産業イノベーション

～県民健康力の向上と保健機能製品の世界展開～」

事業概要：「医・農」分野の中核的研究者の集積を図り、県特産農産物由来の機能性成分の研究を行う。また、「食・健康・運動」に関わる人材の育成と配置を行う。

参画機関：（公財）わかやま産業振興財団、近畿大学、和歌山県立医科大学、和歌山大学

行 事：シンポジウム 年1回

展示会 平成27年9月予定

外部評価委員会 年1回

農産物有用化合物活用研究会 年4回